

住宅部会ゼミナール2019

テーマ「BIM活用における住宅分野の可能性」

科学技術の進展によって社会構造は大きく変化する。中でもコンピューター社会の到来は、これまで類を見ない速さで人々の生活に深く浸透し、他の技術との融合により住宅供給の仕組みにも影響を及ぼしている。

BIMは、実績重視の建築の世界に根をおろし、今や欠くことのできない建築生産技術として進化しつつあり、工業化住宅の開発手法との親和性も高いことから、住宅生産の在り方を飛躍的に変える可能性を有している。このゼミナールが、良質な住生活を持続するための新たな事業展開や課題共有の場になれば幸いである。

- 期日 令和元年8月30日（金）
- 会場 日本出版クラブ会館ホール
（東京都千代田区神田神保町1-32）
- 主催 （一社）プレハブ建築協会
- スケジュール
 - <第一部>14:00～14:10 開会挨拶
 - 14:10～15:00 講話
 - <第二部>15:15～16:45 講演
 - 16:45～16:50 閉会挨拶

第一部 講話

1. 「住宅建築行政の最近の動向について」 14:10～14:35
国土交通省 住宅局 住宅生産課長 武井佐代里 氏
2. 「住宅産業に係る新技術への期待」 14:35～15:00
経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室長 縄田 俊之 氏

第二部 講演

- 「BIMが創るこれからの住まいと供給システムの変革」 15:15～16:45
国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ 武藤 正樹 氏

〈 武藤 正樹（むとう まさき）氏 プロフィール 〉



1992年名古屋工業大学社会開発工学科卒業、1997年名古屋工業大学大学院工学研究科社会開発工学専攻修了・博士（工学）。日本学術振興会特別研究員、徳島大学工学部講師、建設省建築研究所研究官、国土交通省国土技術政策総合研究所主任研究官、独立行政法人建築研究所主任研究員を経て2016年より現職。専門分野：施工労務管理、契約、BIM

以上